

No.63
(2010.01)

びっくり 県政だより

千葉県議会議員 (千葉市緑区選出) 川本 幸立



ある県O
Bの方が
「千葉県も
やっと不正
経理が明る

口をつぐむ県幹部 30億円不正経理の根は 90年代の「裏金づくり」にある

03～07年度の5年間で消耗品費を中心に30億円という県の組織的な不正経理が県民の大きな怒りを買っています。他県と比べてもずば抜けて多いのは何故かと疑問に思われる方が多数だと思えます。

今回の不正の大口は、事務機器などの納入業者に架空請求書を出させ、県費を振り込んで業者に管理させる「預け」が7割近くを占めます。

12-03-14	100	*30,000	*102,290	004
12-03-27	100	*85,320	*18,970	004
12-03-29	900		*42,230	004
12-03-29	100	*16,190	*26,040	004
12-04-12	100	*22,020	*4,020	004
12-04-13	900		*26,860	960
12-04-13	900	*22,840	*49,700	960
12-04-19	900	*10,550	*60,350	960
12-04-28	900	*1,400	*61,760	960
12-05-31	900	*85,689	*59,449	960
12-05-31	100	*33,090	*35,359	004
12-07-19	100	*7,200	*28,159	004

不正経理の証拠？

「97年ごろの市民オンブズマン活動の活発化に対応して、「情報公開」でばれ

みに出たか」という感想とともに次々であることを話してくれました。

「官官接待、カラ出張など全国の自治体で大きな問題となった90年代、千葉県でも内部告発があった。当時の沼田知事はそれを無視したことで、不正体質が温存された」

「当時、多くの課が「馴染みの店」(スナック、料亭)を持っており、課の庶務主任は上司の指示を受け、飲み食いした代金は裏金を捻出して支払っていた」

「97年1月の内部告発文書によれば、90年代の千葉県は「50億円を楽に越える公費が乱用され幹部職員のような裏金づくりはするな」と指示があり、業者の帳簿とつきあわせねばバれない「預け」に切り替えられた。」

「本来、厳しくチェックすべき監査委員は、知事が任命し県OBなどで構成されているので、チェックする気はさらさらない」

90年代当時から「課長↓副課長↓経理責任者」という指揮命令系統の中で各課の経理処理が行われ、今の副知事や部長の多くがその中にいました。不正の事実を「知らないはずはない」のですが、議会答弁で「記憶にない」「今回の報告で初めて知った」などと口を揃えて否定しています。

「97年1月の内部告発文書によれば、90年代の千葉県は「50億円を楽に越える公費が乱用され幹部職員のような裏金づくりはするな」と指示があり、業者の帳簿とつきあわせねばバれない「預け」に切り替えられた。」

飲み食いに消えていることでしょう」とあります。

岐阜県では06年に不正経理問題が発覚した折、12年前の94年当時の経理担当職員約850名へのアンケート調査を行い、その結果92～03年度までの不正経理額を19億円と算定し、現職、OBの県幹部・管理職らに返還を求めました。

千葉県民は「03年度以降だけでなく90年代の50億円も返せ」という声を上げるときだと思えます。

森田知事は「すべてのウミを出し切る」と宣言した以上、今回の不正の根である90年代の不正にもメスを入れなければなりません。

